



梅輪車

<鹿島中学校 学校だより>

【平成31年3月号②】

待ち遠しい春がもうすぐそこ 《**重点目標**》 『**品格を高め、目標に向かってねばり強く取り組もう**』

いよいよ1年の締めくくりの時期を迎えました。3月13日(水)には、114名の3年生に卒業証書が手渡されます。3年生は、学校生活のあらゆる場面でリーダーとなり、「学校の顔」として期待に応える活躍をしてくれました。1年生は中学校生活にも十分に慣れ、自信溢れる言動が数多く見られるようになりました。2年生は中堅学年として、部活動を始め、委員会活動、生徒会活動を3年生からしっかりバトンタッチし、たくましさが増してきました。安心して卒業生は卒業できると思います。

【114名が巣立つ！第36回卒業証書授与式】

第36期生の卒業証書授与式が行われ、卒業生が巣立っていきます。好天であればと思うのは皆さんも同じことと思います。この中学校3年間の想いを胸に、厳粛な中で一人ひとりが、はっきりと聞こえる返事やきびきびとした態度で卒業証書を受け取ってほしいです。

当日は、公私ともご多用の中、卒業を祝福に多くのご来賓の皆さまや地域の方々にご臨席いただきますよう心よりお待ちしております。また、卒業後も卒業生を含め、本校の教育活動にご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。



卒業生である「神長倉唯」さんの偉業を紹介します。3年間の理科の授業で、提出物(ワーク、ファイル、単元テストの反省、週末課題等)の提出する機会が約80回ほどありましたが、3年生114名の中で、唯一すべての提出を行ったという偉業です。なかなかできないことです。3年生の1年間でオールクリアした生徒は17名おりました。この生徒たちも立派でした。3の1前に氏名が掲示されています。

【「啓発録」という書物】

幕末の福井藩士だった橋本左内は、15歳で「啓発録」という書物を書き、自らを律する行動規範を5項目にまとめていますので、ご紹介いたします。1項目でも参考になれば幸いです。

- ①稚心を去る(去稚心) ……子供っぽい心を捨て去る。
- ②気を振るう(振気) ……負けじ魂と恥を知る気持ちをふるいたてて努力する。
- ③志を立てる(立志) ……自分の進む道に対する決心を固める。
- ④学に勉める(勉学) ……先人の立派な行いに習って学問や修養に励む。
- ⑤交友を択ぶ(択交友) ……自分にとって大切な友人をえらんで交際を深める。

特に彼は、最初の「稚心を去る」ということについて、「おさな心を克服し、親から自立しなければ、自分の道に入ることはできない。」と述べています。

交通安全 年間スローガン **「みんながね ルール守れば ほら笑顔」**



『風鈴抄』
流れの中で

聞けるときに聞いておかないと
決して聞けないコトバがある
言えるときに言っておかないと
再びは言えないコトバがある

つかめるときにつかんでおかないと
死ぬまで無縁の宝がある

みがけるときにみがいておかないと
光らぬまま朽ちて行く宝がある

得たものを失う その数よりも
得られず失われたものたちの数の
多さ

わずかの知恵とわずかの努力が

それらに触れ得たかも知れないのに
新春の光がなでる新しい日記は

最初の頁から最後の頁まで 純白
しるせるときにしるしておかないと
二度とはしるせない記録がある

宮沢章一 著

(大宮詩人叢書刊行会)より

まさに、学校のスローガンである「今この瞬間を大事に努力してほしい」ということです。同じ、時間に戻ることのできない、後悔しないことの大切さを一文字一文字に感じる詩です。